

2024. 2. 20 3校

第2期
愛媛県立医療技術大学図書館
アクションプラン(案)

～医療に携わる人の育成と研究をサポートする図書館～

令和6年〇月

愛媛県立医療技術大学図書館

目 次

1	はじめに.....	1
2	アクションプランの概要.....	2
3	年度別事業計画.....	3
4	参考資料.....	10

1 はじめに

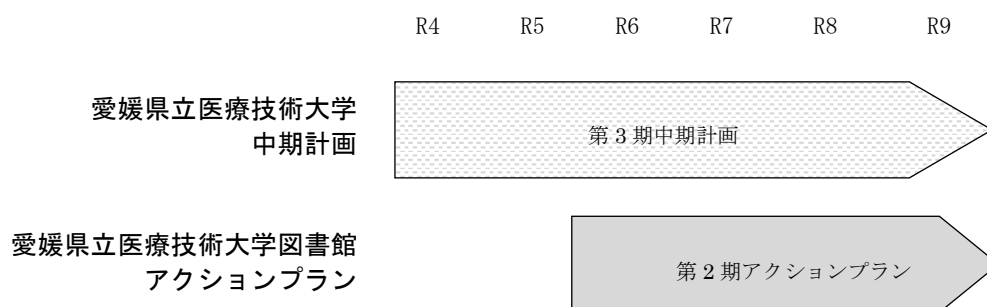
第1期アクションプラン(平成26年度～令和3年度)では、ラーニングコモンズの設置、貸出用ノートPCの設置、貸出可能冊数の緩和、図書館サポーター制の導入、別館書庫の設置、学外者の土曜日・平日夜間の図書館利用等、アクションプランの「具体的な取り組み」の約80%を達成し、従来の図書館運営からの脱皮につながりました。当時の大学図書館の先進的な取り組み追いつくことを目指したことで、他の図書館に先駆け着手・実践できた事業もあります。特に図書館サポーターが中心となり生まれたマスコットキャラクター「える」は、学生や教職員、外部の関係者からも好評で、貸出用バック等「える」のグッズを展開し、本学図書館の顔として活躍しています。

コロナ禍で図書館利用が大幅に落ち込み、同時に電子資料が瞬く間に普及し、図書館の本質的な役割を考えさせられる機会となりましたが、第2期アクションプラン(令和5年～令和9年度)では、電子化、DX化がさらに普及することを想定し、新たな図書館像を目指すことにしました。

第1期アクションプランでの経験を踏まえさらなる深化を試み、学生、教職員、地域の方や医療関係者に必要とされる図書館として、第2期アクションプランの「具体的な取り組み」の達成を目指します。

2 アクションプランの概要

第2期アクションプランは令和5年度から令和9年度までの5年間を計画しています。令和4年度からは愛媛県立医療技術大学第3期中期計画がスタートしており、中期計画で図書館が関係する事業を推進するとともに、中期計画に含まれていない事業についても図書館が主体となり計画推進することで、きめ細かいサービス展開を目指します。



アクションプランは5つの柱で構成しています。

「1 学習環境を整備します」では、主に学生が利用しやすい図書館を目指し館内整備に取り組みます。「2 研究活動を支援します」では、教職員・大学院生の研究に資する図書館を目指し資料の充実を図ります。「3 読書推進を目指します」では、学生の読書量を増やし図書館の利用頻度を高めます。「4 社会へ貢献します」では、大学からの情報発信の強化と学外者の図書館利用の利便性を向上させます。「5 他の図書館等との連携を推進します」では、大学図書館や公共図書館、病院図書室、類縁機関等との連携を強化し、相乗効果を生み出せる事業展開を目指します。

アクションプラン5つの柱

- 1 学習環境を整備します
- 2 研究活動を支援します
- 3 読書推進を目指します
- 4 社会へ貢献します
- 5 他の図書館等との連携を推進します

3 年度別事業計画

1 学習環境を整備します

現状・課題

コロナ禍により大学内にグループ学習やラーニングコモンズスペースが充実したことにより、図書館の閲覧席では個人での利用が増えましたが、閲覧席の約半数はグループ利用を想定した長机です。また、ノート PC 等の電子機器の利用が増えていますが、コンセントが設置されていない机が多いため不便を強いられています。

データベース、電子ジャーナル、電子ブックを学外で利用する場合、コンテンツ毎にアクセス方法が異なり煩雑なため、利用の妨げとなっています。

図書館サービスの利用法等の動画コンテンツが少なく、周知に寄与していません。

具体的な取り組み	R5	R6	R7	R8	R9	
国試前土日祝日の通常開館 国試 2 週間前から平日同様の時間で図書館を開館します。	重点実施		継続・推進			継続
リザーブブック制度^{*1}の導入 希望する教員の要請に応じ複本を 2-5 冊購入し、指定期間の貸出期間を 3 日間で運用します。		検討準備	重点実施		継続推進	新規
SDGs につながる施策の推進 SDGs につながる施策を推進します。	継続・推進					継続
館内掲示の見直し 内容やデザインが古い掲示物を更新します。	重点実施		継続・推進			継続
図書館前に軽食自販機の導入 図書館前通路に軽食自販機を導入します。		検討準備	重点実施			新規

具体的な取り組み	R5	R6	R7	R8	R9	
閲覧席のコンセントの増加 全ての閲覧席にコンセントを設置します。		検討・準備		重点実施		新規
携帯端末用充電ステーションの設置 スマートフォンの充電ができる棚の設置を検討します。		検討・準備		重点実施		新規
閲覧席の更新 学内にグループ学習ができる場所が充実してきたため、複数で利用する座席を1人用席に変更します。		検討・準備		重点実施		新規
貸出用ノート PC の更新 最新 OS のノート PC に更新します。		重点実施		継続・推進		新規
ラーニングcommonsの椅子の取替え 明るい色味で座面の汚れが目立つため、椅子を暗色のものと取り換えます。		検討準備	重点実施		継続推進	新規
ウェブサイトからのラーニングcommonsの予約受付 ラーニングcommonsの予約、変更等をウェブサイトでもできるようにします。		検討準備	重点実施		継続推進	新規
DXの積極的な導入 導入可能な DX を積極的に採用し業務改善を目指します。		検討準備	重点実施		継続推進	新規
電子ブック導入の推進 電子ブックの導入冊数を増やします。	継続・推進					継続
電子資料の学外アクセス環境の整備 VPN 接続、学認等学外から簡単に電子資料にアクセスできる環境を整備します。		検討・準備		重点実施		新規
動画コンテンツの公開 図書館サービスの利用法等動画コンテンツを作成し公開します。	重点実施			継続・推進		継続

※1 リザーブブック制度 教員が授業の課題等で指定した資料の複本を揃え貸出期間を制限することで、多くの学生が利用できる制度

2 研究活動を支援します

現状・課題

蔵書冊数が書庫の収容可能冊数を超えているため毎年除籍が必要となり、除籍作業が多大な負担となっています。

図書館内のみ利用できる資料等、利用制限のある資料も多く、貸出を希望する利用者もいます。

レファレンスの利用は低調であり、周知不足となっています。

オンライン研修が充実してきたため、職員が研修に参加する機会が増加し、職員のスキルアップにつながっています。

具体的な取り組み	R5	R6	R7	R8	R9	
書庫の拡大 書庫狭隘化対策として、第2別館書庫を新設します。		検討・準備		重点実施		新規
書庫利用条件の緩和 大学院生も書庫を利用できるよう条件を緩和し、資料を自分で探せるよう対応します。		検討準備	重点実施		継続推進	新規
視聴覚資料の貸出 貸出可能な視聴覚資料を借りられるようにします。		検討準備	重点実施		継続推進	新規
レファレンス機能の強化 レファレンスの周知に努めるとともに、対応する職員の資質向上を目指します。	重点実施		継続・推進			新規
職員の研修機会の増加 オンライン研修を中心に、職員の資質向上につながる研修の機会を増やします。			継続・推進			継続

3 読書推進を目指します

現状・課題

コロナ禍の影響により、入館者数、貸出数とも大幅に減少しました。スマートフォンの著しい利用の増加の影響も考えられますが、授業の課題以外での小説や実用書等の貸出が特に落ち込み、紙媒体での読書が減っていると思われます。コロナ禍で、新入生を対象とした図書館ガイダンスを実施できなかった影響も考えられます。

学生に人気の SNS は流行で変化しており、新しい SNS での情報発信ができていません。

マスコットキャラクター「える」はある程度認知されるようになりました。さらなる活躍が期待されます。

具体的な取り組み	R5	R6	R7	R8	R9	
地元ローカル雑誌の導入 ローカル雑誌を導入し、一人暮らしの学生への生活に役立つ身近な情報を提供します。		重点実施	継続・推進			新規
小説や実用書の電子ブックの導入 文学や実用書等、気軽に読める電子ブックを導入します。		重点実施	継続・推進			新規
シェア本棚の開始 希望者が自由に資料を配架できる本棚オーナーとなる機会を提供します。		重点実施	継続・推進			新規
おすすめ資料の紹介 教職員や学生が自分のおすすめ資料を紹介する機会を増やします。	検討準備	重点実施	継続・推進			継続
図書館利用ガイダンスの充実 学生がより積極的に利用してもらえるようガイダンスを充実させます。	検討準備	重点実施	継続・推進			継続
マスコットキャラクター「える」のグッズ作成 マスコットキャラクター「える」のグッズを増やします。		検討準備	重点実施		継続推進	継続
ビブリオバトルの推進 授業と連携したビブリオバトルを推進します。			継続・推進			継続

具体的な取り組み	R5	R6	R7	R8	R9	
SNS での発信強化 SNS の発信回数を増やしフォロワーの増加を目指します。	継続・推進					継続
新規 SNS の導入 学生に人気の SNS を導入します。	検討準備	重点実施		継続・推進		新規
ウェブサイトの内容の見直し デザインや内容が古くなったウェブサイトを更新します。		検討準備	重点実施		継続推進	継続
図書館サポーターとの連携強化 年 2 回程度に図書館サポーターとの意見交換会の機会を増やします。		検討準備	重点実施		継続推進	継続
図書館サポーターの活動機会増加 図書館サポーターと連携したイベントを増やします。		検討準備	重点実施		継続推進	継続



愛媛県立医療技術大学図書館
マスコットキャラクター「える」

4 社会へ貢献します

現状・課題

周知不足と許諾関係の処理が煩雑なこともあり、紀要以外に機関リポジトリに掲載する文献の件数が増えていません。

コロナ禍で、学外者の図書館利用が激減し、その後もほとんど回復していません。夏季及び春季休業中の閲覧席開放サービスも再開できておりません。

各種ネットワークをとおして、様々なテーマで展示会を開催し情報を発信しています。

具体的な取り組み	R5	R6	R7	R8	R9	
機関リポジトリへの登録増加 紀要以外の文献や資料等の機関リポジトリへの登録増加を目指します。		検討・準備		重点実施		継続
学外者の貸出延長の導入 メールを登録した学外者に、貸出延長制度を導入します。		検討準備	重点実施		継続推進	新規
夏季及び春季の閲覧席開放サービスの再開 学生の利用の少ない夏季及び春季休業中に、近隣の中学、高校生等に利用してもらえるよう閲覧席を開放します。			重点実施		継続・推進	新規
利用案内の更新 キャラクターを強調した親しみやすい利用案内に更新します。			重点実施		継続・推進	継続
大学行事と連携した図書館の開館 地域・専門職等対象のイベント時に図書館を開館し、図書館見学やPRをします。	検討準備		重点実施		継続・推進	新規
各種展示会の開催 地域の方にも関心が持ってもらえる各種展示会を開催します。				継続・推進		継続

5 他の図書館等との連携を推進します

現状・課題

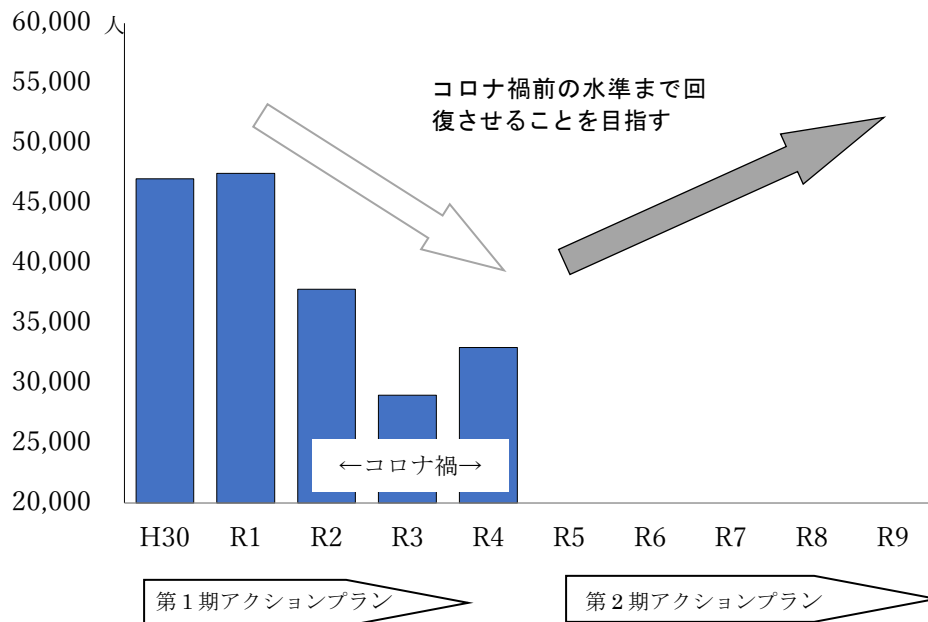
大学図書館や公共図書館との連携及び協力体制の構築を、第1期アクションプランから推進を目指しましたが、一時的な共同事業は実施できても恒久的な協力体制は構築できていません。

病院図書室とはほとんど連携がなく、協力可能な病院からでも連携が求められます。地元の博物館を中心に、博物館とは展示会の開催することで連携が進んでいます。

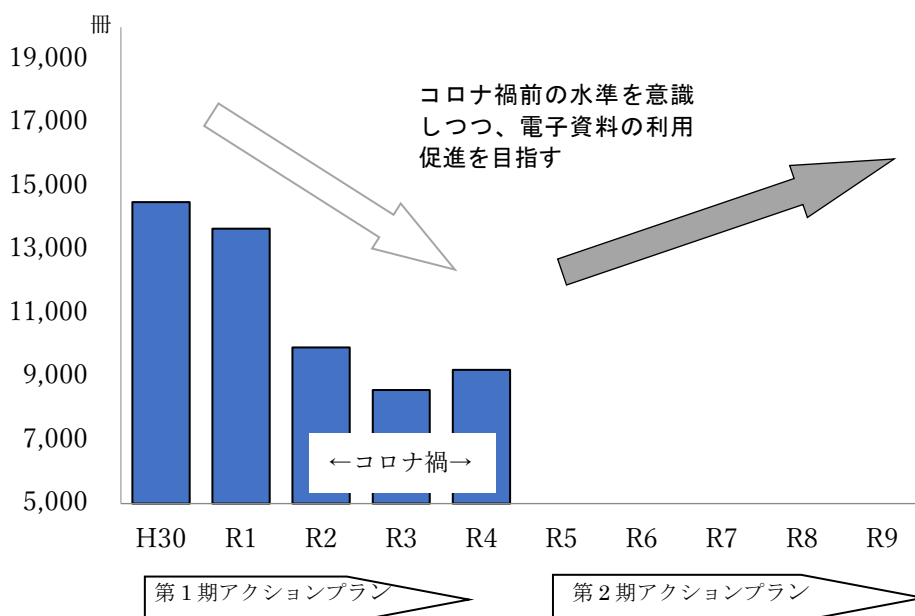
具体的な取り組み	R5	R6	R7	R8	R9	
県内大学図書館との連携強化 相互利用協定の締結、共同利用、共同展示会、共同イベント、共同広報等の連携を推進します。		検討・準備		重点実施		継続
公共図書館との連携強化 公共図書館との連携を図り、展示等を実施します。	継続・推進					継続
看護系図書館との連携強化 専門学校図書室や看護系大学図書館との共同研修会、共同イベント等の連携を推進します。		検討準備	重点実施		継続推進	新規
病院図書室との連携強化 病院図書室との共同研修会、共同イベント等の連携を推進します。		検討準備	重点実施		継続推進	新規
病院等に利用案内を設置 学外者利用（県内各地の医療従事者）向けに利用案内を各施設に設置します。		検討準備	重点実施		継続推進	新規
砥部町との連携強化 砥部町立図書館と相互利用協定の締結、共同利用、砥部町との共同イベント等を推進します。		検討・準備		重点実施		新規
博物館との連携強化 博物館と連携し展示会を開催します。	重点実施		継続・推進			新規

4 参考資料

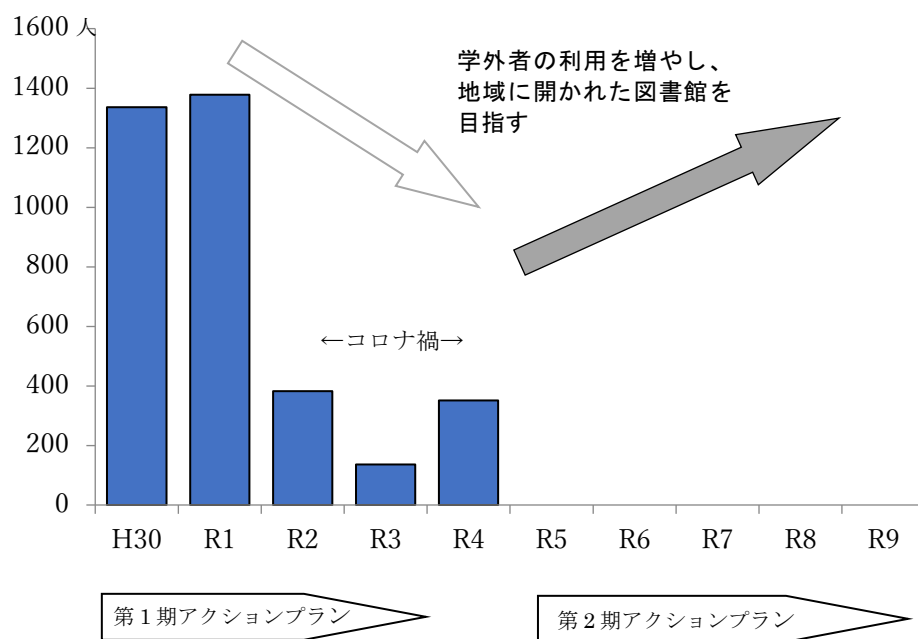
年間入館者数（学外者含む）



年間館外貸出冊数（学外者含む）



学外者年間入館者数（学外者含む）



アクションプランは毎年実施状況を検証し、必要に応じ見直しを行います。

第2期

愛媛県立医療技術大学図書館 アクションプラン

～医療に携わる人の育成と研究をサポートする図書館～

愛媛県立医療技術大学図書・学術委員会
令和6年3月